

支援する会ニュース

2022. 4. 14 NO. 77

韓国・金属労組慶南支部 韓国サンケン支会
韓国サンケン労組と連帯する埼玉市民の会
韓国サンケン労組を支援する会

東京都台東区上野 1-12-6 3階
中小労組政策ネットワーク気付
Tel:03-5816-3960 fax:03-5812-4086

韓国サンケン労組、「最後まで闘って職場に戻ろう！」

4月7日に第76回木曜行動がのべ80人余の参加で行われました。4月13日には大阪支店行動も取り組まれました。韓国ではまもなく米韓合同演習が始まることから、反米軍基地闘争を展開中。この日、キムウニョンさんが、サードの追加配備が取り沙汰されている慶尚北道星州(ソンジユ)に「急遽駆けつけたが、大量に動員された警察に両手両足を抱えられて排除された。長閑な田舎の村になぜ戦争兵器であるミサイル配備なのか。私たちは人々が平和に幸せに暮らせることを求めている」とアピール。サンケン電気構内の桜が満開のこの日、馬山では634日目、サンケンコリア前では58日目の籠城闘争が続きました。

〔本社正門前〕



全統一労組の仲間が「サンケン電気は、火事場泥棒的にコロナを利用して一方的な会社解散・解雇という悪辣なことを

をした！許せない！」とアピールして行動開始。韓国からキムヒョンジンさんが一日の行動を報告してくれ、「6時になると集会に出たり、帰宅したりする人もいる。私は子どもたちを迎えに行き、食事させてからゲームで遊ぶこともある。妻と内職することもある。サンケン電気のために、このような生活を強いられている。私たちも平凡な労働者だ。平凡な普通の生活に戻れるようにしてほしい。私の好きなスローガン『最後まで闘って職場に戻ろう！』」と訴えました。韓国からはキムウニョンさんとオヘジンさんもアピール。埼玉市民の会、旭ダイヤモンド工業労組の仲間の発言があり、シュプレヒコールで終了しました。

〔志木駅南口前〕

駅前にはゆいの会作製の似顔絵パネルが登場(写真下)。埼玉市民の会の発言でスタート。韓国からイミョンヒさんが「2020年1月に韓国サンケンを偽装廃業させて、全員解雇した。労働協約も守らない。私たちに何の説明もなく携帯電話のメールで廃業と解雇の知らせを送りつけ、本社のHPに日本語で廃業を掲載した。それだけだった。赤字で企業運営が難しいのが理



由とされた。しかし赤字の責任は労働者にはない。本社が韓国で上げた利益の一割でも韓国サンケンに投資していれば、廃業などなかった」と訴えました。韓国からはイヘミンさんとキムウニョンさんもアピール。サンケン太郎さん、ゆいの会が熱唱。支援する会の仲間のアピールで池袋へ移動。この日、ゆいの会から支援の仲間へ韓国海苔のプレゼントがありました。

〔池袋・東京事務所前〕

行動前にサンケン電気のI氏と面談。本社が団交に応じるよう要求したが、いつもながらノラレクラリの対応。

渡辺共同代表の挨拶で行動開始。韓国からオヘジンさんが「赤字の責任を労働者に押し付け、コロナを利用して解雇してきた。赤字と言いながら、経営者は誰も責任を取らない。なぜか赤字を出した経営者が本社で出世していく。サンケン電気本社は『韓国のことは韓国で』と言うが、韓国サンケンの解散は本社の判断だ。労働者に責任転嫁して、労組との話し合い



をも拒否して責任逃ればかりする会社が、まともな会社と言えるのか」とサンケン電気を批判。ユナイテッド航空闘争団、京浜ユニオン、女闘労倶楽部、朝鮮学校を支援する仲間、支援する会がリレートークと歌を披露しました。怒りのシュプレヒコールで木曜行動を終えました。

〔尾澤裁判の勝利を〕

尾澤裁判の無罪判決を目指し、さいたま地方裁判所へのハガキと署名活動を展開中です。ご協力をお願いします。支援する会まで御連絡下さい。